# Mizuho Bangkok Daily Market Report

# Dated of 2025/03/11

#### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.90	0.16
JPY/THB	0.2302	0.0023
USD/JPY	147.27	-0.77
EUR/THB	36.73	0.17
EUR/USD	1.0834	0.0001
USD/CNH	7.263	0.018
SGD/THB	25.41	0.08
AUD/THB	21.29	0.01
USD/INR	87.33	0.45
USD Index	103.90	0.06

#### **Bond**

2.30

2.20

15000

10000

5000

-5000

-10000

0

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.963	-0.012
10Y (THB)	2.184	-0.007
5Y (USD)	3.967	-0.119
10Y (USD)	4.213	-0.088

#### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,899.4	-14.7
WTI (Oil)	66.03	-1.01
Copper	9,528.5	-85.0

#### Stock

2.50

Nov-24

85

80

75

70

65

60

Nov-24

Dec-24

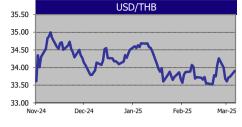
Mar-25

Feb-25

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,177.44	-24.59
NIKKEI (JP)	37,028.27	141.10
DOW (US)	41,911.71	-890.01
S&P500 (US)	5,614.56	-155.64
SHCOMP (CN	3,366.16	-6.38
DAX(GER)	22,620.95	-387.99

#### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,372)	-4780.4
Bond net flow	227	-6132.4
	* 1 1/1	. 1



**MIZUHO** 



strong

Mar-25



92.00

Mar-25

Nov-24

Dec-24

Jan-25

Feb-25

## Yesterday's market summary

Dec-24

Jan-25

Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)

#### ●ドルバーツ

昨日のドルバーツは上昇。33バーツ台後半でスタート。バンコク時間午前、ピチャイ・タイ財務相から「観光や輸出を支えるため、政府はバーツ安を望む」との発言が確認され、バーツじり安の展開となり、ドルバーツは底堅く推移。NY時間に発表された米2月NY連銀1年インフレ期待指数が予想を上回ったことや、米株が徐々にを下げ幅を縮小させる動きを受け、ドル買い優勢となり、ドルバーツは上げ幅を拡大。33.90バーツレベルでクローズを迎えた。

Feb-25

Jan-25

## ●ドル円その他

昨日のドル円は下落。147円半ば付近でスタート。東京仲値にかけて147円台前半まで下落。一服後は147円台後半まで戻すも、その後は同水準で上値重く推移。欧州勢が参入してくると、米経済の不確実性を背景にリスクオフの円買いが強まり、再度147円ちょうど付近まで下落。NY時間午前中は米株安や米金利低下を受けて146円台後半まで一段と下落。しかし、その後は米2月NY連銀1年インフレ期待指数が予想を上回ったことを受けて値を戻す展開となった。午後は米株の下落幅が縮小するも、軟調な推移が続き、147.27レベルでクローズ。

## Bangkok Dealer's Eye

労働団体の「連合」は今月6日、2025年春闘の賃上げ要求が32年ぶりに6%を超えたと発表した。第1回の回答集計結果は14日に公表を予定しており、最終的に5%台前半で着地する可能性が高いとの予想が大勢となっている。日銀の内田副総裁は5日の記者会見で、物価の基調を考える上で「一番重要なのは賃金」と指摘。また、昨年の3月に日銀がマイナス金利を解除した際は、好調な春闘の動向が判断の決定打になったと見られていたことを思い返せば、今回の集計結果次第で市場の早期利上げ観測がさらに強まることが見込まれている。一方、この結果のみで今月の日銀会合において、連続利上げに動くことは想定しにくく、トランプ関税の動向などの不確実性も高まっている中で、メインシナリオとして次回利上げは7月との見方は変わらない。ただ、米経済動向次第で間但し5月に利上げするかもしれないとの一部の見方も出ている。今回と5月を見送って円安が再燃する場合、円安によるインフレリスクが7月参院選で与党に不利となることは早期利上げの後押し材料ではあるが、利上げなら「日銀が利上げを急いでいる」との印象を与えてしまう可能性もあるため、見通し難い状況は継続しそうだ。(Li)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.